

令和 8 年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

音 楽

受 験 番 号		氏 名	
------------------	--	------------	--

注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 4 ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 次の(1)～(5)の設問に答えなさい。

(1) 次の①～③の語について説明せよ。

① 受難曲

② una corda

③ 新日本音楽

(2) 次の表は、郷土の民謡や民俗芸能の種類を分類したものである。表中の①～⑤に当てはまる語句を、下のア～クから選び、記号で答えよ。

分 類	仕事歌	②	踊り歌	④	祝福芸
具体例	①	長持歌	③	舞楽	⑤
ア … 歌舞伎	イ … 祝い歌	ウ … 茶摘み歌	エ … 渡来芸		
オ … わらべうた	カ … 座敷歌	キ … 万歳	ク … 盆踊歌		

(3) 次の①～④の文は、世界の諸民族の音楽の【種類】とその説明である。音楽の【種類】と説明の組合せが正しい場合は○を、誤っている場合は説明に合うように正しい音楽の【種類】を答えよ。

- ① 【ヨーデル】 アルプと呼ばれる高地牧場で生活する牧童の間で生まれたといわれる音楽で裏声と地声を交互に組み合わせた歌唱法が特徴である。
- ② 【^{ドゥイガ}対歌】 朝鮮半島で愛好されている民俗芸能の一つで、一人の歌手が歌やせりふ、身振りなどで登場人物を演じ分ける。
- ③ 【ウズン・ハワ】 ポルトガルで好まれている物語形式の哀愁に満ちた大衆歌謡で、ギターの伴奏で歌われる。
- ④ 【グリオの歌】 西アフリカの語り部が、コラなどの楽器を持って村々を回り、自らが歌い語るだけでなく、時には民衆の歌や舞踊をリードする。

(4) 次の文章は、生徒が欧米における日本の文化の受容について調べ、発表のために作成したメモの一部である。後の①～③の問いに答えよ。

19世紀後半から20世紀初頭のヨーロッパでは、日本の開国により、浮世絵などの日本の芸術作品が欧米諸国に持ち出されたり、万国博覧会などで陶器や漆製品などが広く紹介されたりしたことで、(a) の気運が高まった。

(a) がとりわけ盛んであったフランスでは、日本文化に影響を受けて、様々な芸術作品が生まれた。例えば、マネの『エミール・ゾラの肖像』には相撲絵が描かれているほか、(b) が作曲した『海』の初版の楽譜の表紙には、葛飾北斎の『神奈川沖浪裏』の影響が見られる。一方、イタリアでは、プッチーニが日本を題材にしたオペラ『(c)』の作曲に当たり、『越後獅子』などの日本の旋律を多く引用し、日本人の娘とアメリカの海軍士官との恋を描いた。

① 空欄 a ～ c に当てはまる語句や人名を答えよ。

② 下線部 _____ は、三味線音楽の一つに分類されるが、その分類の名称を答えよ。

③ 下線部 _____ について、オペラ『(c)』において引用された日本の旋律を、次のア～オから2つ選び、記号で答えよ。

ア … 「鶴の巣ごもり」

イ … 「さくらさくら」

ウ … 「ソーラン節」

エ … 「越天楽」

オ … 「お江戸日本橋」

(5) 「速さを示す楽語」について、次のア～オのうち、遅い意味を持つものから速い意味を持つものへと正しく並べたものを選び、記号で答えよ。

ア … adagio → moderato → presto → allegretto

イ … presto → allegro → moderato → adagio

ウ … lento → larghetto → allegretto → vivo

エ … largo → vivace → moderato → presto

オ … adagio → allegro → larghetto → vivace

- 2 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月告示)における芸術科「音楽Ⅰ」A表現(1)歌唱の学習として、合唱を中心に扱うこととした。次の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) 次の文章は、ヨーロッパにおける合唱の変遷について、生徒に示す解説文である。後の①～③の問いに答えよ。

紀元前5世紀頃のギリシャでは演劇が盛んに行われ、(a)と呼ばれる合唱隊が劇の背景の説明や要約などの役割を果たした。その後、ローマ帝国が(b)を公認後、各地で歌われていた聖歌は次第に統一され、ローマ教皇の名にちなみグレゴリオ聖歌と呼ばれた。
ルネサンス期になると、現在のベルギー西部を中心とする(c)地方でジョスカン・デプレらが活躍し、その後、イタリアでは、オペラ『ポッペアの戴冠』などを作曲した(d)が、多声の世俗歌曲である(e)の作曲家としても、多くの作品を残した。

- ① 空欄 a ～ e に当てはまる語句を答えよ。
② 下線部について、「音楽様式上の特徴」を2つ答えよ。
③ 下線部について、②で挙げた特徴に生徒自身が気付けるよう、比較聴取させたい。比較聴取する声楽を伴う楽曲を、W. A. モーツァルトの作品から設定し、その特徴を②と対比させて説明せよ。
- (2) 合唱による純正な響きを体験するため、「振動数」についての理解を深めさせたい。次の①、②の問いに答えよ。
- ① 音における「振動数」について説明せよ。
② 楽譜に示した「は音」が64Hzのとき、「ハ音」は何Hzか答えよ。



- (3) 次の楽譜は、文部省唱歌『ふるさと』に基づいて作成したものである。後の①～③の問いに答えよ。



- ① 文部省唱歌『ふるさと』の作詞者及び作曲者を答えよ。
② この旋律をテノール声部とする混声四部合唱の学習を行うため、次の条件を踏まえて編曲せよ。なお、歌詞を記入する必要はないものとする。
【条件1】旋律の特徴とテノール声部の音域を踏まえ、移調すること。
【条件2】学習において、思考・判断のよりどころとなる主な音楽を形づくっている要素が「テクスチュア」となるようにすること。
③ ②の編曲に当たり、どのような配慮を行ったか【条件1】【条件2】のそれぞれについて書け。

- 4 次の表は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）における「音楽Ⅰ」の目標と、目標に対応する「評価の観点の趣旨」を示すものである。後の(1)～(4)の設問に答えなさい。

「音楽Ⅰ」の目標	評価の観点の趣旨
音楽の（a）活動を通して、 <u>音楽的な見方・考え方を働かせ、（b）の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</u>	
(1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の（c）について理解するとともに、 <u>創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。</u>	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の（c）などについて理解を深めている。 ・創意工夫などを生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作などで表している。
(2) 自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。	<u>音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて（d）をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。</u>
(3) 主体的・（e）に音楽の（a）活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって（b）を明るく豊かなものにしていく態度を養う。	音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・（e）に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

- (1) 空欄 a～e に当てはまる語句を答えよ。

- (2) 次の①～③の文は、下線部 _____ に関する「高等学校学習指導要領解説 音楽編」（平成30年7月）における記述の一部である。空欄 i～iii に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、後のア～カから選び、記号で答えよ。

- ① … 音楽的な見方・考え方とは、感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや i 、音楽の文化的・歴史的背景などと関連付けることであると考えられる。
- ② … 音楽的な見方・考え方は、芸術科音楽の ii に応じた、物事を捉える視点や考え方であり、音楽を学ぶ本質的な意義の中核をなすものである。
- ③ … 音楽的な見方・考え方は、音楽的な見方・考え方を働かせた芸術科音楽の学習を積み重ねることによって広がったり深まったりするなどし、その後の人生においても iii ものとなる。

- | | | | |
|---|--------|---------|--------------|
| ア | i … 感情 | ii … 特質 | iii … 生きて働く |
| イ | i … 個性 | ii … 性質 | iii … 学びに向かう |
| ウ | i … 感受 | ii … 特徴 | iii … 生きて働く |
| エ | i … 感情 | ii … 特質 | iii … 学びに向かう |
| オ | i … 個性 | ii … 特徴 | iii … 豊かな |
| カ | i … 感受 | ii … 性質 | iii … 豊かな |

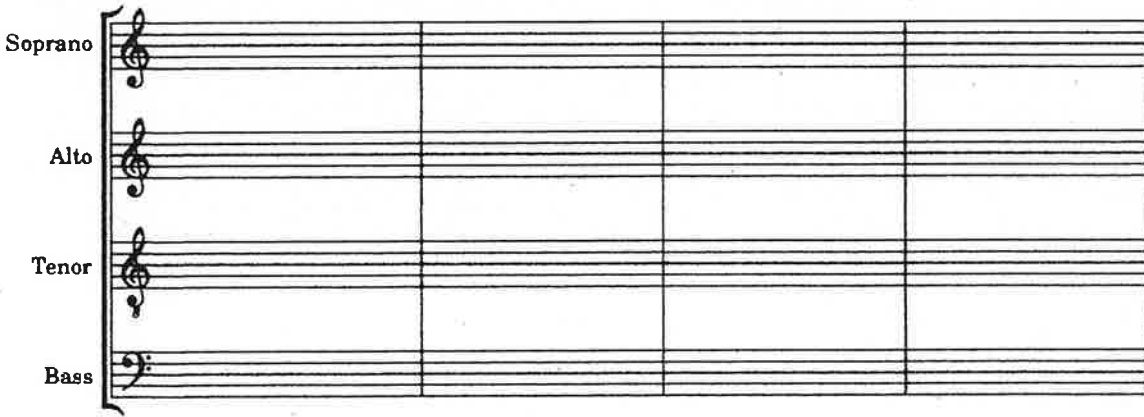
- (3) 下線部 _____ を扱う学習の際、どのような指導が必要となるか説明せよ。

- (4) 下線部 _____ とはどのような生徒の姿を指しているか。歌唱の学習場面を想定して説明せよ。その際、次の語をすべて使用すること。【着目】【知覚】【感受】

音楽解答用紙	2 枚中の 1	受験番号		氏名	
--------	---------	------	--	----	--

(8 年)

1	(1)	①				
		②				
		③				
	(2)	①	②	③	④	⑤
	(3)	①	②	③	④	
	(4)	①	a	b	c	
		②		③		
(5)						

2	(1)	①	a	b	c
		②	d	e	
		③	特徴	特徴	
	(2)	③	楽曲	特徴	
		①			
	(3)	②		Hz	
		①	作詞者	作曲者	
		②			
		③	【条件 1】		
		③	【条件 2】		

音楽解答用紙	2 枚中の 2	受験番号	氏 名	(8 年)
--------	---------	------	--------	-------

3	(1)	a	b	c
		d	e	
		② ア	イ	ウ
		ダウンストローク奏法		
	③	アップストローク奏法		
(2)	ア	イ	ウ	エ

4	(1)	a	b	c	d
		e			
	(2)				
	(3)				
	(4)				

以下はあくまでも解答の一例です。

音楽解答用紙	2枚中の1	受験番号	氏名	(8年)
--------	-------	------	----	------

1	(1)	①	例：新約聖書に収められた福音書におけるイエスの受難の物語に基づいて作曲される大規模な声楽作品。 [5]								
		②	例：「一弦で」の意味で、弱音ペダルを用いるピアノの奏法。 [5]								
		③	例：大正時代の中期、宮城道雄らが邦楽と洋楽を融合した新しい日本音楽の創造を目指した運動。 [5]								
	(2)	①	ウ [3]	②	イ [3]	③	ク [3]	④	エ [3]	⑤	キ [3]
		(3)	①	○ [4]	②	パンソリ [4]	③	ファド [4]	④	○ [4]	
	(4)	①	a	ジャポニスム [3]	b	ドビュッシー [3]	c	蝶々夫人 [3]			
②		例：長唄 [3]		③	イ、オ 完答 [3]						
(5)	ウ [3]										

大問1 合計64点

大問2 合計60点

2	(1)	①	a	コロス [4]	b	キリスト教 [4]	c	フランドル [4]	
			d	モンテヴェルディ [4]	e	マドリガーレ [4]			
		②	特徴 例：単旋律 [2]		特徴 例：無伴奏 [2]				
	(2)	③	楽曲 例：『レクイエム』より「キリエ」 [2]		特徴 例：合唱の各声部がポリフォニーで進行し、オーケストラの演奏を伴う [4]				
		①	例：(ある一つの音を鳴らしたときに、) 空気が1秒間に何回振動するかを表すもの。 [4]						
	(3)	②	5 1 2 H z [4]						
		①	作詞者 高野辰之 [4]			作曲者 岡野貞一 [4]			
			例： [8]						
		②							
			③	【条件1】 例：9度に渡る「主旋律」と「合唱全体」が効果的に響き、生徒が無理なく歌えるようト長調に移調した。 [3] 【条件2】 例：旋律とはほぼ同じリズムのバスと、音高の変化もリズムの変化も少ないアルトに対し、八分音符を中心に自由に動く対旋律をソプラノに配置することで、それぞれの声部を特徴付け、その重なりであるテクスチャが思考・判断のよりどころとなるよう工夫した。 [3]					

音楽解答用紙	2枚中の2	受験番号	氏名	(8年)
--------	-------	------	----	------

3	(1)	①	a	ハワイ [3]	b	ポルトガル [3]	c	E [3]
			d	C [3]	e	G [3]		
		②	ア	ペグ [4]	イ	ネック [4]	ウ	ボディ [4]
	③	ダウンストローク奏法 例：人差し指の爪の側面を弦に当て、第4弦から第1弦に向かって手首を支点に振り下ろして弾く。 [5]						
		アップストローク奏法 例：人差し指の腹の側面を弦に当て、第1弦から第4弦に向かって弾く。 [5]						
(2)	ア	G [2]	イ	A7又はA [2]	ウ	C [2]	エ	D7 [2]

大問3 合計45点

大問4 合計31点

4	(1)	a	幅広い [3]	b	生活や社会 [3]	c	多様性 [3]	d	表現意図 [3]
		e	協働的 [3]						
	(2)	ア	[4]						
	(3)	例：表現意図をもった後に、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるといった一方のみの指導ではなく、創意工夫の過程で、様々な音楽表現を試しながら表現意図を明確にしつつ、また技能も習得されていくというような指導が必要となる。 [6]							
	(4)	例①：旋律、強弱に着目し、旋律における音のつながり方や強弱の微妙な変化を知覚し、それらの働きによって生み出される表現の特質などを感受することによって、フレーズにふさわしい表現を考えている姿 例②：音色、旋律に着目し、民謡の声の音色、音階、拍のない音楽の旋律などを知覚し、それらの働きによって生み出される独特の雰囲気などを感受することによって、追分様式の民謡の特徴について考えている姿 など [6]							